



最新EU発の先受け工法を日本へ！！

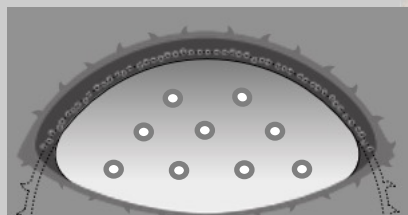
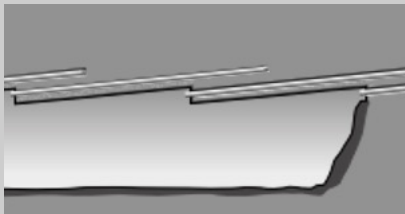


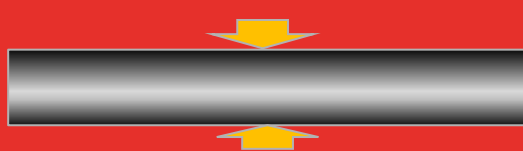
<特徴>

- その1：接続部をスクイズ方式で接続（品質の向上）★★★
→従来のネジ式より、接続部を強化する事により鋼管（応力比3倍）
- その2：完全自動化を実現（安全・省力の向上）★★★
→ローディングユニットをジャンボに搭載することにより、
AGF鋼管の送り・AGF鋼管の接続をリモート操作にて自動化★★
- その3：硬岩地山対応のロストビット（実績による）
→ヨーロッパの硬岩地山で実績によりロストビットの強化を実現★
- その4：鋼管径・鋼管長の種類が豊富（用途が広がる）
→Φ89・6mm～Φ139.6mmの鋼管が打設可能★★

<用途>

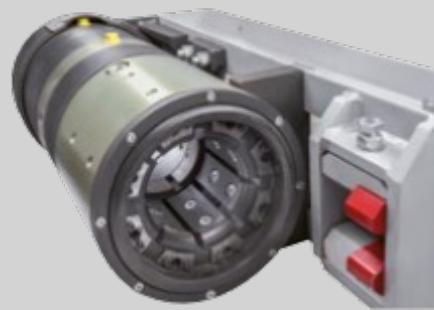
- ①長尺先受け工法（AGF：ALL GROUND FASTEN）
- ②フットパイル工法（AGP） 脚部
- ③サイドパイル工法（AGP）
- ④長尺鏡ボルト（FACE PILE）





<スクイズユニット>

専用油圧ユニットは、特殊加工をした鋼管凸と凹をリモート操作により自動接続し、重なり合った箇所をスクイズ式（かしめる）に接続する治具です。



<スクイズユニット>

<スクイズ接続>

AGF鋼管を接続部です。先に接続する方が凹になっており、後続の鋼管が凸になっております。スクイズユニットで加圧する事により、強靱な接続が可能になります。



<スクイズ式鋼管>

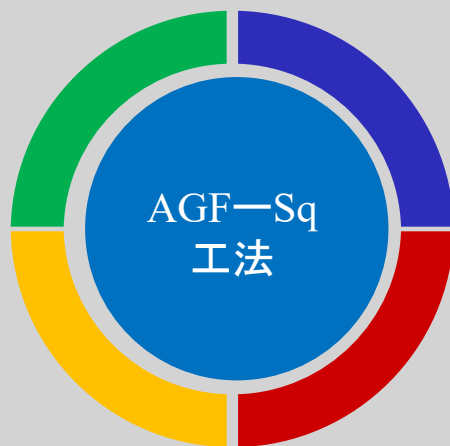
<効果>

安全性の向上

手動から遠隔操作
切羽作業を撲滅

接続部の強化

耐荷重能力の向上



サイクル向上

接続時間の短縮

手動から自動接続に

品質・正確性の向上

✉ ご不明な点は、弊社までお問合せください。

Vr. 2022SP